

No.34 2001年(平成13年)3月25日



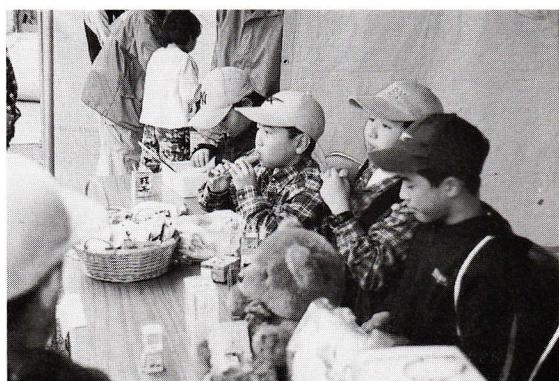
さくわん

苅田町青少年育成町民会議だより



(こどものつどい時に)

心豊かで
たくましい 青少年の育成を目指しましょう



いじものつどい

将棋大会と掲示

平成12年11月26日(日)

中央公民館第7研修室とロビー

町民会議主催



本将棋高学年の部	
一位	与原小6年 坪根 史敏
二位	苅田小6年 佐藤 將臣
三位	苅田小6年 霍田 尚典

本将棋低学年の部	
一位	与原小4年 塩塚 ゆうや
二位	三毛門小3年 宮崎 一晟
三位	片島小4年 西本 大悟

はさみ将棋	
一位	南原小3年 花岡 和樹
二位	南原小1年 花岡 茉耶
三位	三毛門小1年 宮崎 由羽

この内、一つの部では上位3名がじんけんで順位を決めた程の白熱した展開がありました。

ふれあいマラソン大会



平成13年2月4日(日)

パンジー・プラザ、スタート・ゴール
町民会議後援・監視

3・5・7kmに分かれ、時おりの小雨・寒風の中にもめげずに各自の体力に合わせて頑張っていました。

特に、小学生・中学生の皆さんのが進んで参加し、体力づくりに心がけているのはたのもしい限りです。走・投・跳が運動の三要素と言われています。これからも挑戦しましょう。

21世紀は君が主役だ！

健全育成を目指しての体験活動



伝承工作・人形づくり

熊ちゃん人形や小物飾り物、バルーン等の現代的なもの

それらの製作したものを使つての遊びも一興でした。

○初めて参加。少し手伝ってもらつた。自分なりに良くできたと思う。

○昨年に続いて参加。前のよりもぐできたと思う。

町民会議では、製作の喜びと指導者・親子・友だちとのふれあいを深めるため、11年度から復活しています。

竹トンボ・竹ボックリ・水鉄砲・(竹馬は完成品)・わらぞうり・お年玉・あや取り等の伝承工作もの。

○学校でもつくり遊びました。自信を持ってつくった。楽しめた。

○子供と一緒につくりました。今度は家でも一緒につくれます。

スケート研修会



平成13年1月27・28日(土・日)
玄海青年の家

町育成会連合会

冬のスポーツの花形はスキーとスケート。

西南日本のこの地方でも、子どもたちの頃から滑りをおぼえていても。

こんな思いで、町育成会所属のメンバー中68名が挑戦。

初めは恐る恐る。徐々に度胸がついてきて少しづつ前進。と思いつながらもすつてんころり。

でも、何回かの繰り返しの中から滑れるようになる。子どものおぼえは早かつた。

一連の農作業に参加した皆さん。感想は?

家庭シンポジウム

平成12年11月23日(木)

三原文化会館一階大ホール

家庭部会主催

パネラー

(敬称略)

○苅田小6年 大田 彩
「すすめよう！リサイクル！」

○馬場小6年 金丸 奈央
「殿川にメダカを放流したい」

○白川小6年 照本 旭生
「地域の行事で思うこと」

○苅田中3年 新井 優斗
「僕が思う地域活動」

○新津中2年 田中 優貴
「親と子、恥の文化は」

○苅田工高2年 中田 智幸
「ボランティア活動を通して」

○新津中PTA 武内 和之
「学校とPTAの連携」

○片島小PTA 中園恵美子
「親と子の願うものー
スポーツを通じてー」

○助言者 京築教育事務所
主任社会主事 刀根 伸

※事前に、

オアシス運動、家庭の日(書道・絵・作文・標語)と健全育成ポスター両方の表彰式
入賞者百四十一名中百四名の出席。



(表彰式のようす)

子どもたちの声

地域の活動に参加して
地域の活動での思い

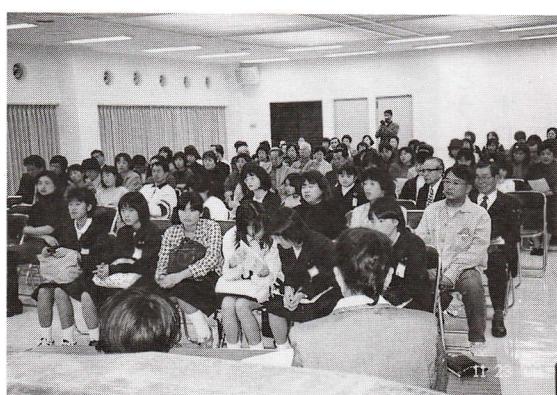
今、地域ぐるみで子どもを育てる見直しがさけばれています。そこで、以下の事は。



- 小学生からも、ゴミ、汚物、公害等の実態が指摘される。
- めだかが放流できる川や廃品回収のリサイクル推進の提言がなされる。
- ボランティアやインタークト等の活動が小学生→高校生、PTA、婦人会、育成会等の団体による活動として広がりつつある報告がなされる。
- 小学生の声が地域の大人たちに。そして、行政を動かした実例が報告される。
- 家族や大人社会の中には、日本古来からの「恥の文化」が失われつつあるという指摘があつた。自己主張・表現の仕方に子どもも含めて日本文化方に一石が投じられた。
- 地域の活動において、子どもたち自身でできることは何か、そこから始めようとする動きが見られる。今までの大人たちの指導による受け身的活動から、子どもたち自らで地域を見つめ、地域を大事に思い、将来に備えようとする願いが感じられる。
- 一方、大人側からも、子どもたちの考えを大切にしながら、地域、学校、家庭、そして子どもが一体となつての活動報告がなされる。新たな地域社会づくりが見られる。



※11月は各地、各所での行事が多い中、PTA、婦人会、教育関係者等々二百名を超える方々が参加され、活発な意見交換がなされました。



外国との比較

(1998・1999年 (財) 日本青少年研究所調査)

○休日についていること(中学生)

●ぼーっとしている

●日本 ■ 55.0%

■米国 ■ 45.1%

●中国 ■ 4.8%

○将来の目標をはっきり決めている

●日本 ■ 17.5%

■米国 ■ 46.7%

●日本 ■ 23.9%

■米国 ■ 44.7%

○家の手伝いを良くする(中学生)

●日本 ■ 23.8%

■米国 ■ 49.0%

●中国 ■ 34.1%

今、県民会議では会長(県知事)を中心に、青少年アンビシャス運動を開催しています。
「豊かな心・幅広い視野・それぞれの志を持つたたくましい青少年」の育成を目指しています。

(県民会議発行・若いなかま No.149号より抜粋)

問題について意見交換しました。

一、映画(少年犯罪と親の責任)

一、京築教育事務所指導主事、

神原修一先生より「京築地区

の青少年問題の実状」の報告

(左記表参照)



平成12年12月12日(火) 18時
三原文化会館一階大ホール

京築地区の青少年問題の実状

問 題 行 動	内 容		年 度	小 学 校	中 学 校
	H.9	H.11			
いじめ	21	15			
不登校	8	73			
暴力行為	0	12			
	10	12			

割合% (H. 11)	不登校態 様別	態 别					
		学 校 生 活	遊 び 非 行	無 気 力	情 緒 混 亂	意 図 的	複 合
	小 学 校	8	0	8	28	0	36
	中 学 校	8	12	22	22	4	25

(平成11年度の相談状況

京築教育事務所児童相談室)

- 相談件数: 638件 (電話71% 来所16% 訪問13%)
- 相談者: 保護者、高校生、未成年者、小中学生の順
- 相談内容: 不登校、進路、性に関する件、身体の順
(夜間): 友人関係、先生、不登校、進路の順

（意見の主なもの）

一、報告を受けて、「地域・学校・家庭での協同取り組みについて」の意見交換

○駅前や公民館、コンビニ等でたむろし、飲食、騒ぎ、他の人に不快感を与えていたり。

○住宅地内でも深夜公然と大きなバイク音をひびかせている。

○スポーツをしたがらない、本を読まない子が増えている。

○あいさつ等声かけをしても高学年になる程返事、対応がない。

○一人ではよい子なのに、集団になると群衆心理が働いて態度が急変している子を見かけた。

○駅前や公民館、コンビニ等でたむろし、飲食、騒ぎ、他の人に不快感を与えていたり。

○文化・体育面とも指導者不足である。地域の人材で教育的配慮のある方がいる。登録制などで学校や地域活動等に役立つてほしい。

地域の方々へ



町民会議では、少年補導員他の補導環境部会と各小中学校の生徒指導主事他の生徒指導研修部会との合同研修会を開いています。

問 題 行 動	内 容		年 度	小 学 校	中 学 校
	H.9	H.11			
いじめ	21	15			
不登校	8	73			
暴力行為	0	12			
	10	12			

（意見の主なもの）

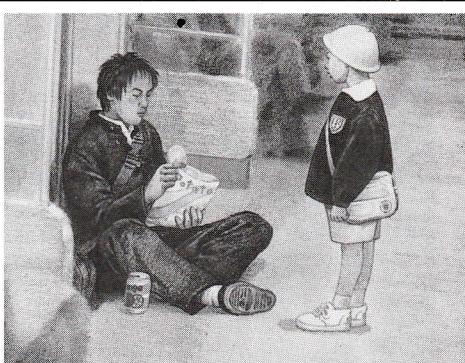
一、報告を受けて、「地域・学校・家庭での協同取り組みについて」の意見交換

○駅前や公民館、コンビニ等でたむろし、飲食、騒ぎ、他の人に不快感を与えていたり。

○文化・体育面とも指導者不足である。地域の人材で教育的配慮のある方がいる。登録制などで学校や地域活動等に役立つてほしい。

もつと子どもに关心を持つとう

京都府社会教育委員会・青少年健全育成部会協議会
13年1月30日、三原文化会館 傍聴して(すこやか事務局)



（意見の主なもの）

一、報告を受けて、「地域・学校・家庭での協同取り組みについて」の意見交換

○駅前や公民館、コンビニ等でたむろし、飲食、騒ぎ、他の人に不快感を与えていたり。

○文化・体育面とも指導者不足である。地域の人材で教育的配慮のある方がいる。登録制などで学校や地域活動等に役立つてほしい。

（意見の主なもの）

4

ふれあい インタビュー

15

苅田工業高等学校Ⅱ 文化系クラブ

作しています。授業では翻わない機械を使いながら、毎日楽しい活動しています。

ト大会学生の部に出場して、49艇中13位。現在までに5年連続大会出場しています。

○放送音楽部

部長：後田麻衣

今迄、FM77.4MHzで毎週土曜日にFM放送をしていました。今後は、アナウンスコンテストに出場したり、苅工のホームページ作りに携わっていいくもりです。

○部落解放研究会

部落差別をはじめとするいろいろな差別問題や人権問題について日頃から話し合っています。京行地区や県全体の部落研の交流会などに参加しています。



文部大臣賞 県教育文化表彰 受賞

食生活改善研究・啓発活動を通して、地域や県文化に寄与
同校の有志グループ



○インタークト部

部長：中田智幸

JR苅田駅・白石の浜等の清掃活動、24時間TV・チャリティ餅つき等の募金活動、韓国との国際交流・他校との交流を行っています。

今年は、韓国の学生が3泊4日のホームステイで研修に訪れます。

※12年度家庭シンポジウム時には、代表が取り組みを発表しました。

ト大会学生の部に出場して、49艇中13位。現在までに5年連続大会出場しています。

○物理部

部長：本田 光

第2回福岡県工業高校ロボット競技大会に出席し、A

チーム「つりの助」が優勝、

Bチーム「デコボン」が準優

勝という好成績を収めました。両チーム共徳島県での全国大会に出場しました。

21世紀初めの苅工生の活躍に貢献していきます。

○将棋同好会

部長：田中将太

週3回放課後に2～3時間程度、部員同士での対局をする活動をしています。



○文化系部、橋本典和先生談

伝統的な部から工業高校特有の物づくりを中心として創造的な部まで様々で、生徒達は目標に向かって、校内はもとより校外でも盛んに日々活動を続けています。

新会長となり、少し不安ですが、旧生徒会役員や一年生も積極的に生徒会活動に参加してくれ、予想していたよりも仕事が苦になりません。

21世紀初めの苅工生の活動に貢献していきます。

○高城太鼓部

部長：野山達也

学校行事、高校野球応援、地域イベント等で太鼓演奏を行っています。

○ホームメイキング同好会

部長：上田 直

食生活、衣生活、環境について等、生活に関する様々なことについて研究活動をしています。



○機械工作部

部長：薄田一高

一人乗りのゴーカートを製

○無線部

部長：上田正順

20000柳川ソーラーボー

○物理部

部長：本田 光

第2回福岡県工業高校ロ

ボット競技大会に出席し、A

チーム「つりの助」が優勝、

Bチーム「デコボン」が準優

勝という好成績を収めまし

た。両チーム共徳島県での全

国大会に出場しました。

○将棋同好会

部長：田中将太

週3回放課後に2～3時間程度、部員同士での対局をする活動をしています。

すこやか

Q

&

A

前号で、「大人が変われば子どもも変わる」を読みました。今、青少年の諸問題が加害・被害共に深刻化しています。それだけに大人(保護者)たちが我が子や地域の子に関心を深めて接していくかねばと思います。そこで、大人たちが子どもに対しての役割などを具体的に教えて下さい。

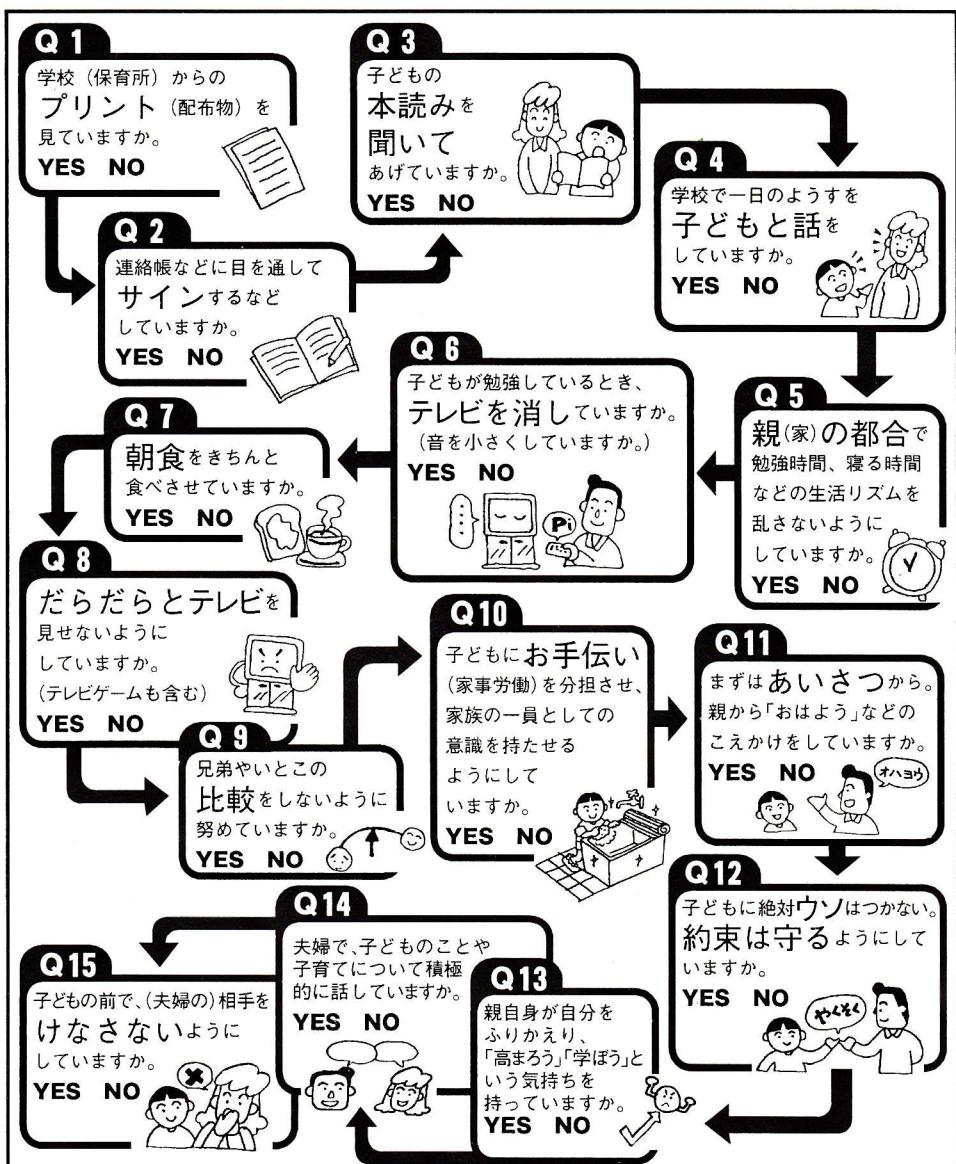
A あなたはどれだけ「親」の役割を果たしていますか?

15の質問に正直にお答えください。「YES」の数であなたの「保護者」度を診断します。
ゲーム感覚で楽しんでください。

子どもの健全育成の出発点は家庭ですね。
そこで今回は、保護者の役割についての資料を

いただいていますので、その中
町の町民会議と学力向上推進・
右の資料は、平成12年度勝山

いじめ対策委員会が合同で作成
している中の一部です。
15点へ向けて大人のあなたが
まず変わりましょう。



0 ~ 3点

今までは、子どもはあなたを親とは決して呼びません。もっと子育てを真剣に考え、かかわってください。子どもの未来を保障するのはあなたしかいません。

4 ~ 7点

子どもが親と呼ぶには、まだまだです。もっと子育てに目を向けて…。親子で遊んだり、会話を楽しんだりして、コミュニケーションの充実を図りましょう。

8 ~ 11点

子どもから親と呼ばれる資格があります。我が子の可能性や個性を伸ばすには、もっと子育てについて勉強が必要です。がんばりましょう。子どもの可能性は無限です。

12 ~ 15点

あなたの子どもはすくすくと育っています。あなたを親と呼んでくれることでしょう。しかし、過度の期待は子どもをだめにする危険性がありますから注意を。

子ども①・②
「すみません。ゴミ袋ください。」
役場の人 「どうしたの?」

「今、追い越していった車の中から、たくさんのお菓子のすいがらが捨てられました。捨て思つて。」

「感心だね。大人が捨てて子どもが拾う21世紀か。うん。」
子ども③・④・⑤
「先生、ゴミ袋ない。帰り道に空きかんや食べかすがいっぱい捨てられています。」

「よく気がついたね。私が捨てたのではないからといって、捨おうとしない人が多いのに、ねえ。よし!一緒に行こう。」
子ども⑥・⑦・⑧
「おばさん、古新聞ないですか。」

「ああ、廃品回収ね。」苦労さん。
子ども⑨・⑩
「学校では、総合学習の中で環境や福祉を勉強しています。地域の育成会も行っています。車いすを望んでいます。」